

# 東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】の評価

## 1 東海村の人口動態について

本村の総人口は、37,900人から37,600人を推移しており、直近5年では、自然減は平均で約150人、転入者数が転出者数を上回る社会増は平均で約130人と自然減が上回っているため、総人口は微減している状況です。

また、令和6年度の状況としては、自然減が169人に対し、社会増は23人となり、人口の減少人数が146人と直近5年で最も減少幅が大きくなりました。

＜東海村の総人口推移＞ ※各年10月1日現在

項目	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
総人口(人)	37,702	37,891	37,920	37,891	37,837	37,657

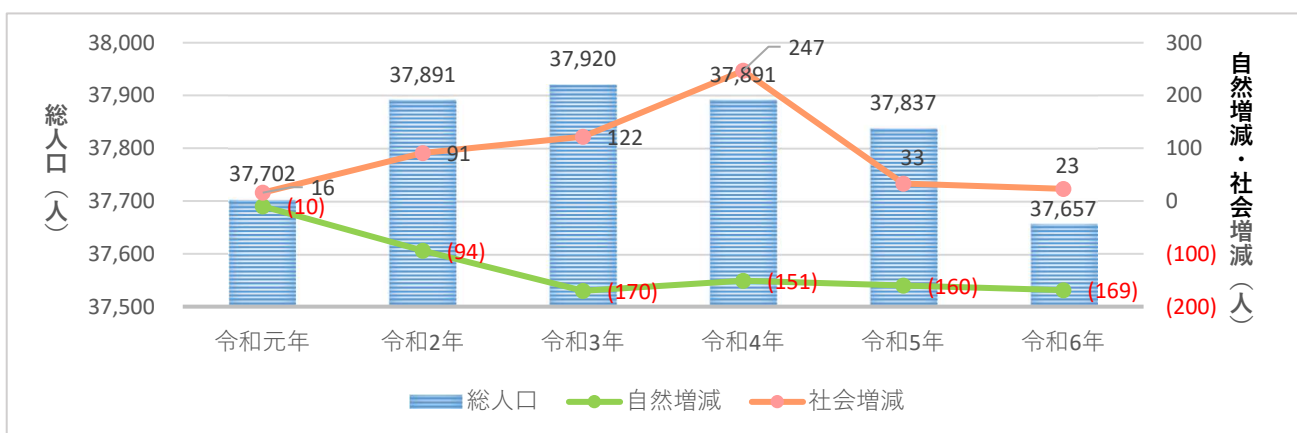
(出典：茨城県常住人口報告書)

＜東海村の人口動態推移＞ (各年1月～12月集計)

項目	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
出生(人)	293	261	244	242	250	233
死亡(人)	303	355	414	393	410	402
自然増減(人) …a	-10	-94	-170	-151	-160	-169
転入(人)	1,393	1,385	1,381	1,598	1,476	1,361
転出(人)	1,377	1,294	1,259	1,351	1,443	1,338
社会増減(人) …b	16	91	122	247	33	23
人口の増減数(人) …a-b	6	-3	-48	96	-127	-146
【参考】合計特殊出生率(%)	1.56	1.34	1.34	1.35	1.40	1.29

(出典：茨城県常住人口報告書、東海村合計特殊出生率統計)

＜東海村の人口動態推移＞



(出典：茨城県常住人口報告書)

## 2 東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】の評価について

第2期総合戦略では、基本目標ごとに基本施策を通じて達成を目指す数値目標（KGI）を設定しました。3つの基本目標で計6つの数値目標を設定しており、うち2つの数値目標が達成水準にあると考えられます。また、1つの数値目標についても、目標値に到達しないものの、改善の傾向がみられました。

一方、基本目標を達成するための基本施策に関する重要業績評価指標（KPI）については、20項目のうち13項目が令和5年度、令和6年度に達成水準にあると考えられることから、施策としての成果は出ましたが、出生率の低下、物価高騰など近年の社会情勢の影響により、KGIの達成に至らなかったと考えられます。

また、基本目標1のKGIである転入者数から転出者数を差し引いた純移動数は、大幅に目標値を超え、施策の効果を反映しましたが、順調に数を伸ばしていた令和2年度から4年度に比べ、令和5年度、6年度は伸びが止まりつつある状況です。

第3期総合戦略では、これまでの施策も踏まえつつ、社会情勢の変化に応じた新たな施策に取り組む必要があります。

### （1）基本目標ごとの数値目標の達成状況

#### **基本目標1** 多様な世代から選ばれるまちづくりの推進

「令和2年から令和6年までの純移動数」は目標値を上回り、「東海村に住み続けたいと考えている住民の割合」については2023年度（令和5年度）時点では目標値に到達しなかったものの、上昇がみられました。

#### 【基本的な方向性】

「いつか戻りたい」「ずっと住み続けたい」と想えるまちとなるため、“ふるさと”への愛着を醸成し、定住人口を維持するとともに、将来ふるさとは戻ってくる（Uターン）若者を育てます。また、「行ってみたい」「住んでみたい」と多様な世代（特に若い世代）から選ばれるまちづくりを進めます。

#### 【数値目標（KGI）】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
令和2年から令和6年までの純移動数 （単位：人）	-7 (H27-R1)	250 (R2-6)	91 (91)	213 (122)	460 (247)	493 (33)	516 (23)
東海村に住み続けたいと考えている住民の割合 （単位：％）	71.5 (H30)	76.5 (R6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			75.8	-

※実績値下段の（）内の値は、単年の増減値

## 基本目標2 若い世代が安心して子育てできるまちづくりの推進

「安心して産み育てられる満足度」は令和5年度時点で目標値を上回りましたが、「令和2年から令和6年までの累計出生数」は1,230人とどまり、目標値に到達しませんでした。

### 【基本的な方向性】

子育てと仕事の両立支援など女性が生き生きと働くことができる環境づくりや、行政と地域が一体となった「子育てに優しいまちづくり」の実現を目指すことにより、若い世代が安心して子どもを産み育て、誰もが活躍できる社会の実現を図ります。

### 【数値目標 (KGI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
安心して子どもを産み育てられる満足度 (単位: %)	54.1 (H30)	60.0 (R2-6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			73.2	-
令和2年から令和6年までの累計出生数 (単位: 人)	1,591 (H27-R1)	1,500 (R2-6)	261 (261)	505 (244)	747 (242)	997 (250)	1,230 (233)

※実績値下段の()内の値は、単年の増減値

## 基本目標3 誰もが生き生きと働き、活躍できるまちづくりの推進

「従業員数」は、確認できる最新の値である令和3年度時点で基準値である平成30年度の水準を上回りました。なお、50歳未満における農業就業人口については、令和6年度の農林業センサスの集計結果が出ていないため、評価を行うことが困難です。

### 【基本的な方向性】

最先端科学技術が集積するサイエスタウンの特色を活かした雇用の創出、産学官連携による創業支援による雇用の創出、地域経済を支える既存事業者の活性化を通じた雇用の創出・確保に取り組むことにより、誰もが生き生きと働くことができ、活躍することができるまちの実現を図ります。

### 【数値目標 (KGI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
従業員数 (単位: 人)	17,164 (H28)	17,700 (R6)	経済センサス活動調査未実施		17,387	経済センサス活動調査未実施	
50歳未満における農業就業人口 (単位: 人)	38 (H27)	現状維持 (R6)	35		農林業センサス調査未実施		未集計

(2) 基本目標ごとの基本施策の重要業績評価指標 (KPI) の達成状況と主な取組み

**基本目標 1** 多様な世代から選ばれるまちづくりの推進

基本施策 1-1 「いつか戻りたい」「ずっと住み続けたい」まち

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
東海村は住みよいと考えている住民の割合 (単位: %)	45 (H30)	50 (R6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			51.1	-
中学生の職業体験に協力する企業のうち村内企業の割合 (単位: %)	100 (H30)	現状維持 (R6)	職業体験未実施	100	97	86	100

【主な取組み】

- ①地域おこし協力隊が、未来ビジョン推進に向けて実施した亀下区・緑ヶ丘区の地域内の活動 (地域の課題解決や地域イベントの開催等) を支援しました。(令和元年度～令和3年度)
- ②「ふるさと納税推進事業」により、村の特産品等による魅力発信を行い、村外から村を応援してくれる寄附者を増やすことができました。(令和元年度～)
- ③「歴史と未来の交流館」が開館し、誰もが村の歴史や自然を学び、郷土への愛着を深める場所や機会を提供することで、歴史、自然、文化等の地域資源を活かしたまちの魅力を創出することができました。(令和3年度～)
- ④「ウォーカブルなまちづくりの推進」として、ウォーキングを軸とした“楽しい”健康まちづくりを推進していくため、歩くきっかけづくり、定着化させる仕組みづくり、歩きたくなるまちづくりに取り組みました。(令和5年度～)
- ⑤「村発足70周年記念事業」として、令和7年3月に村発足70周年を迎えるにあたり、先人たちが築いてきた歴史を振り返り、郷土に誇りと愛着を持ち、将来を展望する事業を展開し、未来を担う人づくりに取り組みました。(令和6年度～)

基本施策 1-2 「行ってみたい」「住んでみたい」まち

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
転入超過数 (単位: 人)	-7 (H27-R1)	250 (R2-6)	91 (91)	213 (122)	460 (247)	493 (33)	516 (23)
路線バスの延べ利用者数 (単位: 人)	79,642 (H30)	86,000 (R6)	60,100	69,920	80,099	87,187	86,920
公共交通に対する満足度 (単位: %)	30.9 (H30)	41.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			57.8	-
移住施策を活用して移住した人数 (単位: 人)	0 (H30)	5 (R6)	0	0	116	140	143

※実績値下段の()内の値は、単年の増減値

## 【主な取組み】

- ①「東海村つながるプロジェクト」では、特に若い世代の「ひとづくり」や「つながりづくり」を進めることにより、村内外のキーパーソンのつながりを創り出し、関係人口の増加を図ることで、「行ってみたい」「住んでみたい」まちの推進を行いました。(令和2年度～)
- ②「6・3・3plus とうかいっ子育成プロジェクト」として、村で生まれ育った子どもたちの村への愛着や誇り、郷土愛を醸成し、持続可能な村づくりに繋げていくため、村内の自然・歴史・人等のあらゆる地域資源を活用し、小学校から青年まで(6+3+3+α)の子ども達を対象とした連続性のある体験プログラムの構築と実践に取り組みました。(令和5年度～)
- ③「東海高校とのフレンドシップ協定」を締結し、高校生の発想力や行動力を活かし、村の発展と魅力創造、人材育成にともに取り組みました。(令和5年度～)
- ④「わかものまちづくり推進事業」として、「東海村つながるプロジェクト」「6・3・3plus とうかいっ子育成プロジェクト」「東海高校とのフレンドシップ協定」といった取り組みをさらに深化するべく、高大生対象のわかもの会議、高校生まちづくりスクール中学生向け職業体験事業を実施しました。(令和6年度～)
- ⑤移住者を増加させる施策として「とうかい住まいる応援事業」を開始し、移住者を積極的に受け入れるまちづくりを推進しました。(令和4年度～)

## 基本目標2 若い世代が安心して子育てできるまちづくりの推進

### 基本施策2-1 女性が生き生きと働き、出産・子育てができるまち

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
待機児童数 (単位：人)	9 (H31)	0 (R6)	2	0	0	0	0
希望したときに、希望した保育サービスが利用できる人数の割合 (単位：%)	54.9 (H30)	60.0 (R6)	子育て支援に関するアンケート調査実施時に測定			53.4	-
女性従業者数 (単位：人)	5,683 (H28)	5,800 (R6)	経済センサス活動調査未実施	5,698	経済センサス活動調査未実施		

### 基本施策2-2 子育て世代に優しいまち

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
子育ての環境や支援への満足度 (単位：%)	54.2 (H30)	60.0 (R6)	子育て支援に関するアンケート調査 R5 実施			51.1	-
地域の子育て支援に関する情報が得やすいと思う割合 (単位：%)	78.6 (H30)	現状維持 (R6)	子育て支援に関するアンケート調査 R5 実施			77.6	-
恵まれた学校環境で子どもの能力を伸ばせる教育が受けられる満足度 (単位：%)	38.7 (H30)	50.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			70.0	-
公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすい満足度 (単位：%)	50.0 (H30)	63.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート調査 R5 実施			78.4	-

#### 【主な取組み】

- ① 「とうかい版ネウボラの推進」や医療費助成等の継続した行政サービスを展開し、子育て世代に優しいまちづくりを進めました。
- ② 「東海村立けやきの杜保育所」や「私立小規模保育事業所」を整備し、安心して子どもを預けられる環境を整えました。(令和2年度)
- ③ 「出産・子育て応援パッケージ」として、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援(出産・子育て応援ギフト支給事業)をパッケージ化して実施することで、伴走型相談支援の実効性を高めました。(令和5年度)
- ④ 「子育て世帯に向けた強化支援パッケージ」として、経済的支援と子育て環境支援を2つの柱とし、第2子以降の保育料無償化、在宅育児手当の支給、こども家庭センターの設置、緊急保育所整備等の事業を進め、ソフトとハードの両面から支援を強化しました。(令和6年度～)
- ⑤ 「奨学金返還支援事業」として、奨学金返還額を補助するとともに、村内の医療・介護・福祉分野の就業者、村立小中学校の任期付村費教職員、非常勤講師及び村立保育所の会計年度任用保育士を対象に返還額補助の上乗せを行うことで、奨学金を返還しながら働く若者の経済負担を軽減するとともに、村内の医療・介護・福祉分野における人材の確保・定着につなげました。(令和6年度～)

### 基本目標3 誰もが生き生きと働き、活躍できるまちづくりの推進

#### 基本施策3-1 最先端の科学技術が集積するポテンシャルを活かした魅力あるまち

##### 【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
原子力人材育成・確保協議会が主催するインターンシップの定員充足数 (単位: %)	25.6 (H30)	50.0 (R6)	80.0	未実施	69.5	59.0	53.0
原子力人材育成・確保協議会が主催するイベントをとおして就職した人数 (単位: 人)	5 (H30)	10 (R6)	9	7	14	5	10
学術研究、専門・技術サービス業の従業者数 (単位: 人)	4,280 (H28)	5,000 (R6)	経済センサス活動調査未実施	4,130	経済センサス活動調査未実施		
理科が好きと回答した中学3年生の割合 (単位: %)	69.0 (H30)	74.0 (R6)	全国学力・学習状況調査未実施	全国学力・学習状況調査設問なし	64.7	全国学力・学習状況調査設問なし	75.1

##### 【主な取り組み】

- ①産学官が連携した原子力技術者等の育成・確保を推進するため、「原子力人材育成・確保協議会」がイベントを開催し、イベントを通して就職した人材を平均8名（令和2年度～令和3年度）確保しました。
- ②歴史と未来の交流館の開館を契機に、「とうかい子どもキャンパス事業」を実施し、未来を担う子どもたちへの探求心を育むことができました。（令和3年度～）
- ③「宇宙線ミュオンによる古墳探求プロジェクト推進事業」として、J-PARCセンターや茨城大学等と連携した、宇宙線ミュオンを利用した古墳の調査、教育プログラムを展開しました。（令和5年度～）

#### 基本施策3-2 持続可能な地域経済を支える仕組みがあるまち

##### 【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	基準値	目標値	実績値				
			R2	R3	R4	R5	R6
経営相談延べ件数 (単位: 件)	536 (H30)	590 (R6)	240	208	240	318	295
創業支援により創業した件数 (単位: 件)	6 (H30)	12 (R6)	4	6	11	11	14
農業次世代人材投資資金（旧：青年就農給付金）を受給した新規就農者数 (単位: 人)	3 (H27-R1)	5 (R2-6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※実績値下段の()内の値は、単年の増減値

##### 【主な取り組み】

- ①新型コロナウイルス感染症の拡大に関連した支援として、令和2年度から「水道料の減免」や「事業者の家賃補助」、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」や「感染症予防対策支援補助金」等を実施し、地域経済への影響を軽減させる事業を展開しました。
- ②「スマート農業推進支援事業」として、生産及び加工現場への先端技術（ロボット技術、ICT等）導入にかかる経費の補助を始めました。（令和5年度～）
- ③村が中長期的に産業振興を可能とするため、産業構造の実態や課題を分析、特定し、特定された課題を解決する「東海村産業振興ビジョン」を策定しました。（令和6年度）